

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	徳島県	事業実施主体	徳島県、海陽町	地域再生計画名	「海陽町の安心・安全な未来をつくるまちづくり計画」
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	海陽町 建設課長 黒木辰也		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	中間目標の達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	基準年度	年度	中間実績	基準年度	基準年度	指標総数		達成数		
	災害時地域孤立リスク低減 災害時における地域住民の孤立回避率の向上		0.0%	H28	100.0%	R1	50.0%	100.0%	R3	×	3	0	事業費の不足による事業進捗の遅れにより中間目標値を下回っており、早急に最終目標値100%に達成するよう事業を進捗させる必要がある。
	指標2	山腹崩壊抑止面積の増加	150ha	H28	270ha	H30	209ha	350ha	R3	△	3	0	令和元年度分の集計ができていないため、平成30年度時点での状況で目標値を下回っている状態である。
	指標3	効率的な森林整備の実施 木材の年間素材生産量の増加	34,100m3	H28	46,300m3	R1	42,902m3	58,900m3	R3	×			森林整備の実施が遅れており、中間目標値を下回っている状況である。今後も引き続き森林施策を実施し、目標値を上回るようにしていきたい。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R1）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	350m	275m	375m	計画の進捗に遅れはあるが、今後も引き続き事業を実施し、安心安全な暮らしの生活交通網の確保に向け早期に完了する必要がある。								
	林道整備事業（整備延長）	3,800m	2,670m	3315m	計画整備量及び事業費ともに、現在、目標数値は達成できている。今後も整備延長を伸ばしていきたい。								
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	宍喰地区地域防災公園整備事業	南海トラフ巨大地震により孤立が懸念される宍喰地区に防災公園を整備する。			H31年度に事業化された、阿南安芸自動車道と、アクセス道である県道との連携を密にし、効率的な事業の進捗を図る。								
	森林林業再生基盤づくり交付金等事業	森林の機能回復と木材資源の確保			林道及び作業道の整備を行い、森林の適正な管理を進め、山腹崩壊等の山地災害を防止するとともに、森林の機能回復と木材資源の確保を図る。								
	造林事業	企業誘致と若者定住確保の実施			造林、下刈り、間伐等の森林の保育事業を行い、地域活性化の原動力となる間伐材の有効利用を図るほか適正な森林維持に努め、今後も継続的に行う。								
	「海陽町元気になる和」事業	地域特産物のブランド化			食の安全安心、地産地消、食育を柱として、町、町民、農林水産業者及び商工会業者の役割を明らかにすることにより、海陽町の元気な未来を実現する為に事業に取り組み今後も継続的に行う。								
	農林業における人材育成	資格養成研修等の実施			林業においては、搬出間伐等に使用する高性能林業機械の操作を行う林業従事者で、機械操作に係る資格を有する「森のエキスパート」養成研修等を実施し今後も継続的に行う。								
③評価方法	海陽町地域再生協議会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行う予定。												
④中間評価の公表方法	海陽町のホームページに掲載する予定。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うこととしており、町道の整備については計画の進捗には遅れがあるが、整備量（事業費）では計画の70%を越えており道路網のネットワーク化や災害時の避難路・迂回路としての機能確保に向けて着実に取り組みを進めている。 林道整備においては、事業を推進してきたところ、今まで森林施策が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					計画より町道の整備が遅れている。 このため、中間評価の結果を踏まえ、計画の変更を行う。							
	令和3年度交付金要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 15,000千円の減					遅れている事業を効率的に進め、早期の完了を目指す。							
⑦今後の方針等に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ●町道2路線整備事業費の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の事業費 認定時0千円→見直し後50,000千円[50,000千円増額] ・総事業費 認定時500,000千円→見直し後431,000千円[69,000千円減額] ●林道4路線整備事業費見直し <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の事業費 認定時168,000千円→見直し後103,000千円[65,000千円減額] ・総事業費 認定時1,194,000千円→見直し後1,022,000千円[172,000千円減額] 												